校長室だより

# 共学共高

第110号

令和８年11月16日発行

発行責任者
白梅学園高等学校長
武　内　　彰

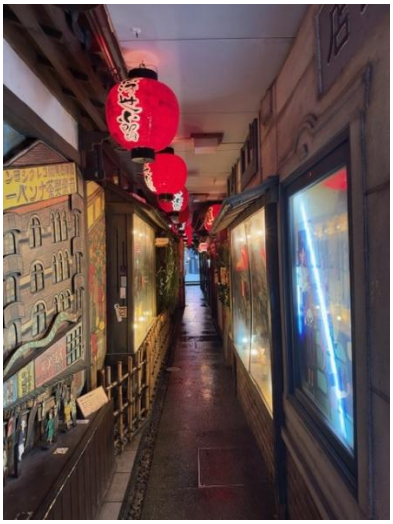
# 楽しんでや！大阪～関西修学旅行編5

修学旅行５日目、今日が最終日となる。ホテルで朝食を済ませると、大きな荷物をトラックに積み込み、専用バスに乗って大阪ミナミエリアへと移動する。日本橋北詰というグリコサインの近くの場所でバスを降りて、班別行動である。各班は事前指導で計画した所を思い思いに回る。私も事前に計画を立てておいたので、そのとおりに歩く。まずは、道頓堀のグリコサインを目指す。早速、生徒たちがグリコサインと同じポーズをとっているではないか。歩いていると、お店の装飾というか看板というか、なかなか派手である。私は、保護者の方に教えていただいたタコ焼き屋さんに行き、さっそくいただくことにした。開店直後であったが、熱々で、タコが大きい。美味しくいただくことができた。






続いて、法善寺横丁へ。石畳の路地で昔ながらの飲食店が軒をそろえている。続いて、なんばパークスというショッピングやカフェを楽しめるビルを目指す。屋上には、プロ野球南海ホークスの展示や屋上庭園がある。幼稚園児たちが先生に引率されて、遊んでいる。時間がゆったりと流れていくようで、心が安らぐ。







続いて、黒門市場へ向かう。海鮮、串焼き、天ぷら、フルーツなど、さまざまな物が売られている。路地はインバウンドの方々を中心に、人でびっしり埋まっている。





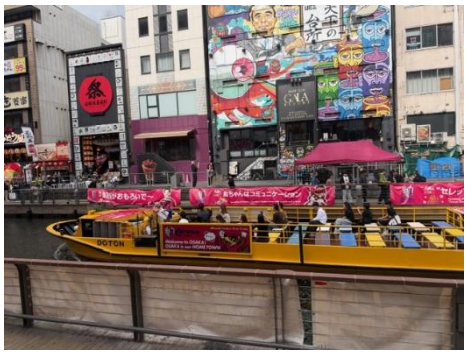


最終目的地は、通天閣である。やや距離があるので歩くのは大変であるが、一度見ておきたいと思った。ここまで生徒たちは来ないかも知れないなと思ったら、一班だけ出会った。中に入って上る時間はなかったので、速足で集合場所に戻る。ところが、予定よりもやや早く着いたので、生徒と一緒にヨーグルトのお店に入って、一休みする。なかなか美味である。









徐々に生徒たちも集まってきて、全員揃ったところで専用バスに乗り込み、新大阪駅へと移動する。駅でお世話になった看護師さんとお別れをして、新幹線に乗り込む。途中、山頂が冠雪した富士山を見ることもできた。



学校生活を一緒に過ごす友と、寝食を共にして 5 日間を過ごすという体験は、非日常ではある。訪れた各場所には、それぞれの歴史や文化、自然、生活がある。それらに直接触れ、感じ取ったものは、いつまでも生徒たちの胸に深く刻まれ続けるものと信じたい。私にとっても、白梅生との修学旅行はとても楽しいものであった。（おわり）

（共学共高とは：本校のディプロマポリシー（育てたい生徒像）の一つで、「共に学び、共に高め合う」生徒の姿を表す）